

地域レベルでの漁況海況情報の提供事業

I 概要

漁業資源課 児玉 修
稲葉 太郎
山下 慶太郎

1 目的

高知県海域における漁況、海況情報を収集し、漁業振興のため漁業関係者等に広報する。さらに、重要水産資源（カツオ・ハガツオ等）に関する漁場情報の収集や資源生態調査を行う。

2 方法と結果

(1) 調査業務

1) 海洋観測調査（沿岸定線調査）

沿岸定線調査を平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月まで毎月 1 回行った。

2) 沿岸定地水温調査

本県沿岸の 7 地点（柏島、足摺、土佐清水市、田野浦、浦ノ内、室戸、甲浦）において水温の観測を行った。さらに、本県沖合に設置された表層型浮魚礁「土佐黒潮牧場」（以下「黒牧」）10 号（室戸沖）、12 号（高知沖）、13 号（足摺沖）において自動観測された水温データを収集、整理した。

3) 沿岸定地水温調査

高知県漁協の 9 支所（清水、下ノ加江、田野浦、佐賀、宇佐、手結、室戸、椎名、甲浦）、すくも湾漁協、窪津漁協、久礼漁協、錦浦漁協、春野町漁協、安芸漁協に協力を依頼し、週ごとの漁獲量を収集した。さらに、各産地市場の月別統計資料を収集し、主要魚種別漁協別（支所別）、主要漁業種類別の漁獲量を整理した。

(2) 広報業務

1) 漁海況速報の発行

人工衛星情報等から判断した黒潮の流路及び沿岸表面水温の分布状況、漁協から聞き取った週間の漁獲量、近県（宮崎県、和歌山県、三重県）の漁況情報を収集、整理し、漁業関係者に対して、漁海況速報として年間計 51 回の情報提供を行った。

2) 漁海況長期予報の発行

中央水産研究所及び関係各県による中央ブロック資源評価会議及び漁海況情報分析検討会で検討した内容を基に、上半期（1～6 月）と下半期（7～12 月）の漁海況の経過を整理し、次半期の長期予報を行った。長期予報は関係機関に文書で提供するとともに、高知県漁海況システムに掲載し公表した。

3) 海洋観測表及び海況図の作成・通報

海洋観測調査により得られた結果を海洋観測表としてとりまとめるとともに、水温、塩分、透明度、流向・流速の水平分布図を作成した。

4) 黒牧ブイ海況情報テレホンサービスの提供

電話応答装置により黒牧 9 号、10 号、12 号、13 号での風向、風速、表面の水温、流向、流速の情報を提供した。

本年度の当サービスの利用回数は計 158,058 回（前年 170,569 回）であった。

5) 高知県漁海況ホームページへの情報提供

当场が収集・作成した海水温情報、漁海況情報（漁海況速報、漁況の概況、長期予報）及び

黒牧ブイで計測された海象情報は、高知県漁海況ホームページで公開した。本年度の当ホームページへの訪問者数は計 670,922 人（前年 596,144 人）であった。

（高知県漁海況ホームページ：<http://www.suisan.tosa.pref.kochi.lg.jp/>）

（3）その他調査

1）探索船情報を用いたカツオ漁業の効率化

詳細は別項に記載した。

2）ハガツオの活魚輸送試験・資源生態調査

詳細は別項に記載した。